

## 地震一口メモ No. 178

### 津波避難ビルについて

津波から身を守るためには、より高いところ、より海から遠い所へ逃げるのが大切です。海辺に住んでいる方、海辺へ遊びに行く方は、高台などに目星をつけ、避難場所として意識しておくの良いですね。

しかし、高台がない平野部では、どこへ逃げればよいのでしょうか。その答えの一つが津波避難ビルです。津波避難ビルは、構造や高さを検討の上で各市町村によって指定され、市役所や役場、公式HPなどにて公開されています。

大阪市を例にとると、大阪府が公表している南海トラフ巨大地震の津波浸水想定に基づき、西側の区について津波避難ビルの確保が進められていて、一覧が大阪市の公式HPにて公開されています。また、各区の防災マップなどにも乗っているため、避難場所と共に避難経路も想定することができます。

いざという時は、自治体の指定にとらわれず、近くの強固で高い建物へ逃げれば良いのですが、例えば「ショッピングモールに避難しようとしたら夜間で閉まっていた」、「高層マンションに逃げ込もうとしたらオートロックがかかっていた」ということもありえます。そんなときのために、津波避難ビルの中でも24時間避難可能なものに目星をつけておくと、役に立つかもしれません。

どこへ逃げるか、どうやって逃げるか、家族はどうするかなど、日ごろから具体的にシミュレーションしておくことが、自分や大切な人の命を守ることにつながります。津波避難ビルも避難場所の1つとして、ぜひ考えてみてください。



写真 避難ビル対策エリアの地図（左）、津波避難ビルのマーク（右）  
（大阪市HPより）